

# 大垣市第2次読書活動推進計画

平成27年3月

大垣市教育委員会

# 目 次

## 第1章 計画の策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画策定の背景	2
4	計画策定の方法	2
5	計画の期間	2

## 第2章 現状と課題

1	本市の読書活動推進の取組みの概要	3
2	第1次計画の実施状況及び評価	4
3	第2次計画の策定に向けて	28

## 第3章 基本方針

1	基本理念	29
2	基本目標	29
3	基本施策	30
4	施策体系図	31

## 第4章 基本施策

1	サービス拠点の整備・充実	33
2	図書館資料の充実	34
3	図書館サービスの充実	36
4	「文教のまち大垣」の継承	39
5	子どもの読書活動の推進	41
6	アクションプラン	43

## 第5章 計画の推進

1	推進方法	45
2	推進体制	45
3	進行管理	45
4	計画の見直し	45
5	指標と目標	46

## 資 料

1	計画策定の経過	47
2	図書館条例等	48
3	図書館協議会委員名簿	49

## 第1章 計画の策定にあたって

### 1 計画策定の趣旨

本市では、平成22年3月、「大垣市第五次総合計画」を上位計画とし、大垣の地域性、独自性をもたせながら、今後10年先を見通した大垣市の教育の在り方と教育行政を進めるための「道しるべ（指針）」として、「ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣」を教育のめざす姿とする「大垣市教育振興基本方針」（期間：平成22年度～31年度）を策定しました。

この方針に基づき、平成23年3月、教育各分野の振興計画の一つとして、「暮らしに役立つ市民の図書館」をめざした図書館の基本的な整備方針や施策と、子どもの読書活動を推進するための施策をあわせた「大垣市読書活動推進計画」（以下「第1次計画」という。期間：平成22年度～26年度）を策定しました。

計画の期間中、インターネットが家庭や学校、事業所などに普及し、スマートフォンやタブレット端末、電子書籍が暮らしの中に浸透してきたことにより、市民の情報収集方法や他の人々とのつながり方、読書の在り方などが大きく変化しました。

また、図書館の必要性や存在意義を問う意見が出される一方、氾濫する情報の中から、正確な情報を図書館に求める声も高まっています。

さらに、平成23年3月の東日本大震災を契機として、地域の絆や、人と人とのつながりの必要性を再認識する傾向が強くなっており、地域の文化やそれを伝承する地域資料の保存の重要性が増してきています。

こうした中、郷土の歴史や文化を保存し、後世に伝承する機関としての図書館の役割が明確になり、各地の図書館では、所蔵する図書や、その他の資料を電子化して保存、提供しようという動きがあります。

また、豊かな人間性をはぐくむための読み聞かせやブックスタートの広がり、学校図書館の活性化など、子どもの読書環境の整備が進む一方、高校生や大学生の読書離れが深刻になってきています。

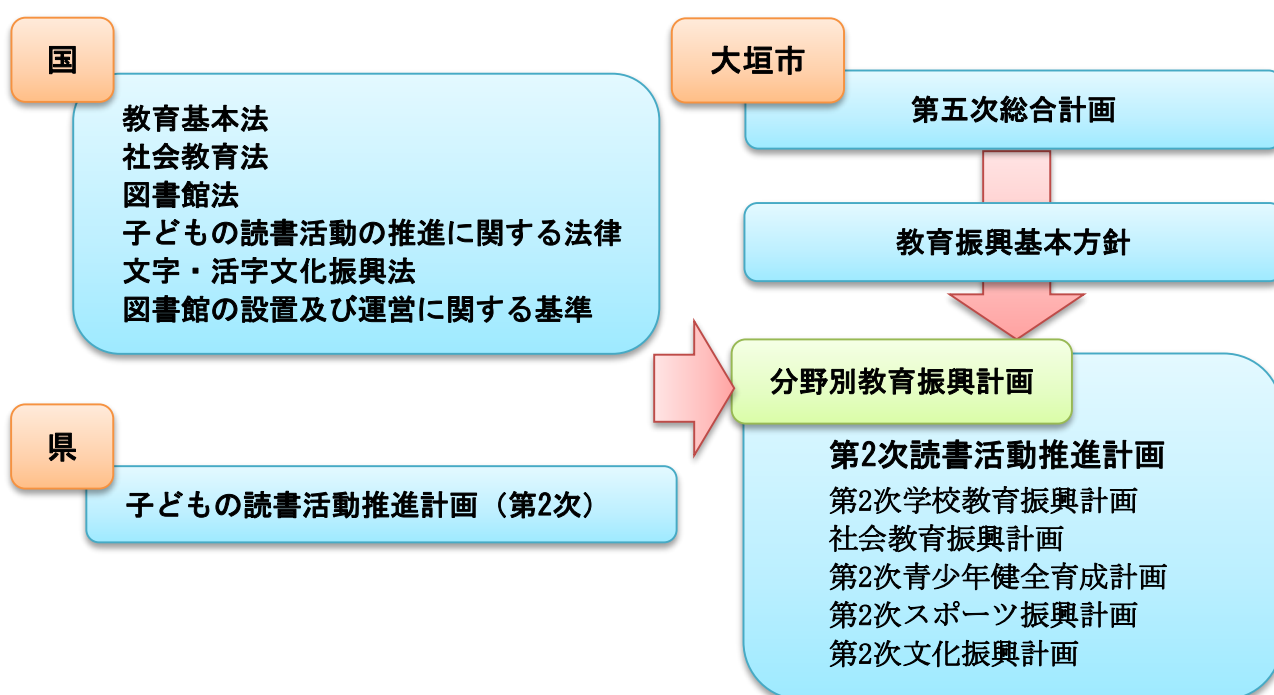
こうした読書や情報に関する環境の変化を踏まえ、今後も、市民の読書活動を一層推進するとともに、中心的役割を担う図書館の姿と、それを実現するための施策を具現化するため、「大垣市第2次読書活動推進計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、「大垣市第五次総合計画」を上位計画とする「大垣市教育振興基本方針」の分野別振興計画の一つとして、他の計画との整合性を図るとともに、本市の読書活動推進に関する方針と具体的施策を明らかにします。

また、国の法律や基準、岐阜県の計画に基づく計画とします。

## 3 計画策定の背景



## 4 計画策定の方法

図書館法に基づき設置した、大垣市図書館協議会において策定します。

また、協議会を公開会議とし、計画策定過程の透明性を確保するとともに、市民から幅広い意見を得るため、パブリック・コメントを実施します。

## 5 計画の期間

計画期間は、平成27年度から31年度までの5年間とします。

## 第2章 現状と課題

### 1 本市の読書活動推進の取組みの概要

本市では、市立図書館や上石津図書館、墨俣図書館の3館により、貸出しやレファレンスなどの日常的なサービスを提供するとともに、読書講演会や文学講座、子ども読書フェスティバルなど、様々な読書活動の推進に関する事業を実施しています。

本市の図書館の蔵書は、すべてコンピュータで管理されており、各館をオンラインネットワークで連携することにより、貸出図書を他の図書館でも返却することができ、また、他の図書館の資料を取り寄せることもできます。

平成24年3月には、図書館のホームページを更新し、図書を予約するときに、受渡場所や連絡方法を指定できる機能を加えるなど、予約図書配本サービスの利便性を高めるとともに、同年7月には、大垣市電子図書館を開設し、これまで貸出しを行っていなかった郷土資料を電子書籍として提供しています。

このように、近年、急速に市民生活に浸透しているICT機器を活用し、図書館から遠方の市民や、開館時間中の利用が困難な市民にも図書館の利用を促進して、読書活動の推進に努めています。

また、子どもの読書活動を市民との協働により推進するため、平成20年度には、市内の読み聞かせグループに呼びかけ、大垣市読み聞かせネットワークを設立して、子ども読書フェスティバルを開催するとともに、平成23年度からは、読み聞かせの技能向上を図るため、読み聞かせボランティア養成講座を毎年開催しています。

今後も、市民一人ひとりが、気軽に読書を楽しみ、必要とする情報を入手できる環境整備や、貴重な郷土資料にふれて郷土愛を醸成する機会の提供に努める必要があります。

特に、本市の未来を担う子どもが、本に親しみながら、言葉を学び、想像力や思考力を養えるよう、家庭や園・学校等と連携協力し、読書活動の推進に努める必要があります。

## 2 第1次計画の実施状況及び評価

### 〔第1次計画の概要〕

(1) 計画期間	平成22年度～平成26年度
(2) 基本理念	「つくる・つなげる・はぐくむ 本と出会い、本を楽しく読み、豊かな心をはぐくむ読書活動」
(3) 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「市民の図書館」の整備充実に努めます</li> <li>② 「地域の知の拠点」として豊かな資料の整備充実に努めます</li> <li>③ 「暮らしに役立つ図書館」をめざしたサービスの充実に努めます</li> <li>④ 「文教のまち大垣」を継承します</li> <li>⑤ 子どもの読書活動を推進します</li> </ul>
(4) 基本施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① サービス拠点の整備</li> <li>② 図書館資料の整備・充実</li> <li>③ 図書館サービスの充実</li> <li>④ 「文教のまち大垣」の継承</li> <li>⑤ 子どもの読書活動の推進</li> </ul>

### (1) サービス拠点の整備

市民の貸出し登録率は、平成25年度末に48.8%となり、およそ2人に1人が登録し、また、図書館を利用する市民の割合は33.3%となっています。

### 〔目標指標〕

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
市民の貸出し登録率 (%)	45.6	46.8	45.5	49.3	48.8	50.0

(資料：図書館)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
図書館を利用する市民の割合 (%)	32.3	36.2	33.0	36.9	33.3	40.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

## ① 図書館サービス網の整備

子どもからお年寄り、障がい者、外国人市民が、気軽に図書館を利用するためには、身近なサービス拠点が必要です。

「これからの公共図書館に必要なサービス」について尋ねたところ、「身近な場所にあること」と答えた人が最も多く58.5%でした。

このため、サービスセンターや地区センターなど、市民の身近な公共施設と連携協力し、地域文庫については、新しい本の整備に努め、また、予約図書配本サービスについては、図書館のホームページから予約図書の配本場所を選択できるようにするなど、利用者の利便性の向上に努めました。

この結果、予約図書配本サービスの利用件数は年々増加し、平成25年度は平成17年度と比較し、約10倍になっています。

## 〔これからの公共図書館に必要なサービス（複数回答）〕

(単位：件、%)

No.	項目	回答	比率	No.	項目	回答	比率
1	身近な場所にあること	107	58.5	10	様々な情報提供	21	11.5
2	開館時間の延長	37	20.2	11	講座や展示会、イベント	15	8.2
3	休館日を少なくする	36	19.7	12	職員の専門性	15	8.2
4	資料が豊富にあること	80	43.7	13	I T、マルチメディアの活用	13	7.1
5	専門的な資料があること	37	20.2	14	遠隔地返却サービス	23	12.6
6	資料検索がかんたんなこと	48	26.2	15	その他	9	4.9
7	10冊以上借りられること	30	16.4	16	未回答	16	8.7
8	15日以上借りられること	34	18.6		合計	409	
9	資料紹介、読書相談	16	8.7				

(資料：図書館の利用に関するアンケート調査)

## 〔予約図書配本サービス利用の推移〕

(単位：件、冊)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
配本件数	718	1,362	2,495	3,879	4,971	5,201	5,618	6,565	7,046
配本冊数	1,843	3,308	5,862	9,210	11,680	12,300	13,422	16,592	18,097

(資料：図書館)

## ② 地域文庫の整備・充実

地域文庫は、地区センターなどの公共施設に設置し、毎月1回、利用者の要望を取り入れ、図書の入替えを行っています。

平成23年4月には、青墓地区センターや中川地区センターの開館にあわせて開設し、また、平成24年11月には、青年の家に開設するなど、平成26年4月現在、市内25か所に設置しています。

〔地域文庫の配本状況〕

(平成26年4月1日現在、単位：冊)

施設	配本	施設	配本	施設	配本
西部研修センター	336	赤坂東地区センター	492	大村公民館	268
子育て総合支援センター	921	青墓地区センター	319	養老華園	115
中川地区センター	1,144	安井地区センター	260	多目的交流イベントハウス	298
興文地区センター	184	宇留生地区センター	211	子育て交流プラザ	119
西地区センター	495	荒崎地区センター	417	くすの木苑	147
南地区センター	712	日新地区センター	817	老人福祉センター	455
北地区センター	884	赤坂地区センター	827	青年の家	500
三城地区センター	947	綾里地区センター	263	合計	11,733
和合地区センター	208	川並地区センター	394		

(資料：図書館)

③ ユニバーサルデザインによる施設の整備

だれもが安心、安全、快適に図書館を利用できるよう、適宜、施設の改修等を実施しました。

〔市立図書館の施設改修等一覧〕

年度	場所	改修等の内容
23	3館	赤ちゃんステーション（授乳室）設置
	1～4階	洋式トイレ設置
	1・3階	多目的トイレ設置
24	1階・北階段	照明増設
	1階	シャンデリアランプ交換
	4階	AVライブラリー改修、パソコンデスク設置
25	1階	カーペット張り替え
26	1・2階	書棚配置変更
	2階	パソコンデスク移設

(資料：図書館)

〔市立図書館の施設整備状況〕



シャンデリア（1階ロビー）



赤ちゃんステーション



#### ④ サービス拠点の整備や施設面における課題

より多くの市民が図書館を利用できるよう、身近なサービス拠点をきめ細かく設置することが必要です。

特に、学校や病院、各種の福祉施設など、目的や特色をもった市民の活動拠点となる施設に働きかけ、その施設の性質や要望にあわせた地域文庫の設置や、予約図書配本サービスの配本所の設置を検討する必要があります。

これにより、各種施設や団体などの活動を資料的に支援することが可能になります。

また、図書館の施設や設備についても、適宜、補修・改修し、市民が将来にわたって安心、安全、快適に利用できるよう整備することが必要です。

#### 〔本市の公共図書館の外観〕



市立図書館  
昭和55年1月開館



上石津図書館  
昭和49年4月上石津町  
中央公民館として開館



墨俣図書館  
墨俣さくら会館2階  
平成6年11月開館

■ 用語解説	
1 大垣市の教育に関する市民アンケート調査	対象者数：500人 調査対象：市内に在住する満18歳以上の男女 抽出方法：無作為抽出、調査方法：郵送配付・郵送返送による郵送調査 調査期間：対象年度の翌年4月15日～30日 平均回収率：48.0% 平成25年度から「分からない」の選択肢を増やし、全体の母数から「分からない」を差し引き、割合を算出しています。
2 図書館の利用に関するアンケート調査	調査対象：図書館来館者 調査方法：自由記入、1人1回、無記名 調査期間：対象年度の4月7日～20日 回収結果：183人（大垣117人 上石津33人 墨俣33人）
3 ユニバーサルデザイン	高齢者や障がい者などの特定の人を対象としてバリア（障がい）をなくすバリアフリーの考え方を発展させるもので、あらかじめ、性別・年齢・身体的特性・国籍などの違いに関わらず、多様な人のニーズを考慮する考え方です。

## (2) 図書館資料の整備・充実

蔵書冊数は年々増加し、平成25年度末には431,919冊となり、蔵書に対する満足度は、毎年90%を超える利用者が「満足」または「やや満足」と答えています。

### 〔目標指標〕

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
蔵書冊数(冊)	397,610	412,080	410,727	421,780	431,919	500,000

(資料：図書館)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
蔵書に対する満足度(%)	90.3	88.8	92.8	91.8	91.6	95.0

(資料：図書館の利用に関するアンケート調査)

### ① 魅力ある資料の整備・充実

市民の様々な情報ニーズに対応するため、幅広く豊富な蔵書の整備に努めました。

平成22年度を基準年として平成25年度の増加率を館別にみると、墨俣図書館が15.6%と最も増加しており、次いで上石津図書館(13.4%)、市立図書館(3.1%)となっています。

資料区分別蔵書冊数では、郷土図書の増加率が14.3%と最も高く、次いで児童図書の8.2%となっています。

これは、一般成人向き図書は内容が古くなったものを順次除籍しているのに対し、郷土図書は除籍の対象外であり、また、子どもの読書活動を推進するため、児童図書を積極的に整備したことによるものです。

特に、上石津図書館や墨俣図書館は、親子が気軽に立ち寄れる図書館として、児童図書の蔵書に占める割合が高くなっています。

参考図書については、近年、インターネットを活用したレファレンスが増えたため、辞書・辞典類や統計書など、古いデータを含む新しい資料を整備し、平成24年度に730冊を除籍しています。

### 〔館別蔵書冊数の推移〕

(単位：冊、%)

区分	H22 (基準年)	H23	H24	H25	増加冊数	増加率
市立	348,792	344,132	351,637	359,486	10,694	3.1
上石津	32,935	34,780	36,632	37,351	4,416	13.4
墨俣	30,353	31,815	33,511	35,082	4,729	15.6
合計	412,080	410,727	421,780	431,919	19,839	4.8

(資料：図書館)

## 〔資料区分別蔵書の推移（3館合計）〕

(単位：冊、%)

区分	H22 (基準年)	H23	H24	H25	増加冊数	増加率
一般図書	265,561	261,224	266,908	273,470	7,909	3.0
児童図書	109,476	111,006	115,542	118,479	9,003	8.2
参考図書	13,649	13,914	13,184	13,235	-414	-3.0
郷土図書	23,394	24,583	26,146	26,735	3,341	14.3
合計	412,080	410,727	421,780	431,919	19,839	4.8

(資料：図書館)

## 〔館別資料区分別蔵書冊数〕

(平成26年3月31日現在、単位：冊、%)

区分	市立	上石津	墨俣	合計
一般図書	237,256	16,727	19,487	273,470
児童図書	83,477	19,812	15,190	118,479
参考図書	13,235	-	-	13,235
郷土図書	25,518	812	405	26,735
合計	359,486	37,351	35,082	431,919
児童図書の割合	23.2	53.0	43.3	27.4

(資料：図書館)

## ② 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実

子どもの育ちに応じた資料を整備・充実するため、児童図書の整備に努めました。

特に、読書離れが指摘されている中高生の読書活動を支援するため、平成22年度にティーンズ図書コーナーを設置し、人生について考える本や職業の本、ライトノベルズなどを整備しました。

また、資料の紹介や活用を図るため、毎月、新着案内「ポケット」を作成し、図書館をはじめ、市内の園や学校などに配布しています。

さらに、赤ちゃんからの育ちに応じた読書を進めるため、0歳児をはじめ、10か月児、1歳6か月児、3歳児向けに分けて「おすすめ本」のリストを作成し、利用者に配布しています。

毎年4月23日から5月12日までの「こどもの読書週間」では、「読みつがれている本展」を開催し、年齢に応じた児童図書の展示やブックリストの作成など、児童図書の紹介に努めています。

## 〔ティーンズ図書の整備状況〕

(平成26年3月31日現在、単位：冊)

区分	市立	上石津	墨俣	合計
ティーンズ図書	4,779	643	391	5,813

(資料：図書館)

### ③ 高齢者向き資料の整備・充実

高齢者向き資料として、人生を深める本や健康・医療関係の本などの整備・充実を図っています。

特に、高齢者が読みやすい大活字本を積極的に整備しました。

また、平成26年5月には、健康・医療関係の本などを2階から1階に移動するなど、利用しやすさにも配慮しました。

#### 〔大活字本の整備状況〕

(平成26年3月31日現在、単位：冊)

区分	市立
大活字本	1,654

(資料：図書館)

### ④ 福祉資料の整備・充実

福祉資料については、平成23年度から従来の音訳テープに代えて、「DAISY (デージー)」の整備をはじめました。

また、点字図書については、ボランティアサークルが点訳した人気作家による作品を数多く整備しました。

点字図書や音訳テープについては、無料で郵送貸出しを実施しています。

#### 〔福祉資料の整備状況〕

(平成26年3月31日現在、単位：点)

区分	音訳テープ	DAISY	字幕ビデオ	点字図書	合計
福祉資料	439	18	769	1,096	2,322

(資料：図書館)

### ⑤ 多文化資料の整備・充実

外国人市民が読書を楽しむとともに、日本人市民が多文化に触れることができるよう、ポルトガル語の絵本の購入をはじめ、外国人市民等からの英語図書の寄贈などにより、外国語を学ぶための多文化資料 (洋書) の整備に努めました。

#### 〔多文化資料の整備状況〕

(平成26年3月31日現在、単位：点)

区分	一般図書	児童図書	合計
多文化資料	2,103	1,074	3,177

(資料：図書館)

## ⑥ 課題解決のための資料や情報の整備・充実

課題解決のための資料として、郷土資料や参考図書を整備するとともに、平成24年3月には、インターネットのホームページ上にレファレンスデータベースを構築しました。

レファレンスデータベースでは、図書館に寄せられた質問の中から、特に有益と思われる事例や興味・関心をひきそうな事例を登録しておくことにより、いつでもホームページから情報を引き出すことができ、また、その事例に関連する参考資料も同じ画面から検索・予約することもできます。

平成26年4月には、タブレット端末やスマートフォンに対応したホームページを構築するとともに、「情報をさがす」画面を新設し、図書館資料をはじめ、市民生活に有益な様々な情報をすぐに入手できるよう努めました。

### 〔市立図書館のホームページ「レファレンスデータベース」の画面〕

レファレンス事例検索結果一覧

検索語: 質問および回答内容=(大垣城)  
件数: 5件

検索語: (大垣城)  
件数: 5件

レファレンス事例検索へ戻る

No.	質問内容	受付日	調査種別
1	大垣城で、卓上句碑を見ました。読み方などについて、教えてください。	2012/02/24	
	<p>表記: 城の戸や涼しうあいて雲の峯 谷木因</p> <p>ヨミ: しろのとや すずし(ゆ)う あいて くものみね</p> <p>「谷 木因(たに ぼくいん)」は、作者名です。 木因(1646~1725)は、大垣船町生まれ。 『大垣の先賢展－芭蕉没後300年記念』などで、「大垣俳人の先駆をなし、貞享・元禄頃の蕉風大垣俳壇の盛況を導いたのは、貞門季吟門下の逸材、谷木因であった」と紹介されています。 木因は、京都の北村季吟の門下生でしたが、相弟子に松尾芭蕉があり、のちの数次にわたる芭蕉来垣や大垣俳壇の蕉風化の経緯に木因の指導や尽力があったとされています。</p>		
2	大垣八幡神社の歴史を教えてください。	2012/02/25	
	<p>大垣八幡神社は、大垣市西外側町にある神社です。 例祭は、現在は、毎年5月15日の直前の土曜・日曜日に「大垣祭り」として行われています。 戦国時代に、兵火により消失しますが、大垣城主・戸田氏鉄が、正保4(1647年)に再建しました。この再建を祝って始まったのが大垣祭りと言われています。</p> <p>詳しい歴史は、下記の参考資料をご覧ください。</p>		

参考資料

『大垣市史 中』大垣市役所 1930(分類)郷土215.3  
『大垣八幡神社史』和田唯男 大垣八幡神社 1979(分類)郷土175.953  
『岐阜県神社要覧』岐阜県神社連合 1922年(分類)郷土170



〔市立図書館のホームページ「情報をさがす」の画面〕



⑦ 図書館資料に関する課題

「これからの公共図書館に必要なサービス」について尋ねたところ、「資料が豊富にあること」と答えた人の割合は43.7%でした。

県内の市立図書館や他地域の同規模人口都市の市立図書館（20市）と比較すると、本市の1人当たりの蔵書数や資料費、貸出し冊数は平均を下回っています。

また、市立図書館の図書収容可能冊数は、約22万冊であるのに対し、平成25年度末の蔵書冊数は約36万冊となり、収容率は約160%に達しています。

こうした中、市民に新鮮で豊富な資料を提供し、貸出し冊数を伸ばすためには、県内都市や全国の同規模人口都市並みの資料費や余裕のある収蔵スペースが必要です。

このため、限られたスペースを有効活用できるよう、価値や必要性が低い資料を除籍し、蔵書の新鮮度を高めるとともに、急速に進歩しているオンラインデータベースや電子書籍の整備を進める必要があります。

デジタル資料は、収蔵スペースを必要とせず、検索や閲覧に便利で、かつ新鮮な情報を提供できる一方、趣味の読書や絵本の読み聞かせには不向きであるといわれています。

そこで、電子媒体と紙媒体、それぞれの特性を生かし、市民にとってより利便性が高く、有効な情報提供サービスの体制を構築することが求められています。

## 〔これからの公共図書館に必要なサービス〕

(単位：件、%)

区分	H23	H24	H25	H26
全回答者数	187	184	271	183
資料が豊富にあること	76	68	102	80
割合	40.6	37.0	37.6	43.7

(資料：図書館の利用に関するアンケート調査)

## 〔人口1人当たりの蔵書冊数、資料費、貸出し冊数〕

(単位：冊、円)

区分	蔵書冊数 (平成23年度末)	資料費 (平成24年度予算)	貸出し冊数 平成23年度実績
大垣市	2.58	198.69	4.47
県内21市平均	3.54	235.15	5.32
同規模人口20市平均	3.29	233.01	5.84

(資料：日本図書館協会「日本の図書館2013」)

■ 用語解説	
1 蔵書冊数	図書館が所蔵する図書の冊数。雑誌や視聴覚資料、古文書などは含みません。
2 レファレンス	図書館資料等を活用して、市民から寄せられる質問に答えるなど、市民自身の調査、研究を支援するサービスのことで。
3 DAISY (デイジー)	視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のため、文学作品や様々な情報を国際基準に基づいて録音するシステムのことで。図書館ではCD-ROMを購入し貸出しています。
4 オンラインデータベース	インターネットなどを経由して、遠隔地から利用できるデータベースのことです。利用者は、データベースの提供者と利用契約を結び、IDやパスワードの発行を受けることにより、自分のパソコンからデータベース上に蓄積された情報を検索・閲覧できます。図書館では、朝日新聞や中日新聞の記事、法律・判例情報、官報情報等のデータベースが利用できます。

### (3) 図書館サービスの充実

年間個人貸出し冊数は、平成25年度末には713,568冊となり、基準値（平成21年度）を34,052冊上回りました。

また、市民の図書館サービスに対する満足度は、平成25年度は56.3%であり、読み聞かせや書架整理、資料修繕などのボランティア活動に参加した人は1,553人でした。

#### 〔目標指標〕

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
年間個人貸出し冊数（冊）	679,516	689,966	709,706	708,865	713,568	750,000

（資料：図書館）

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
図書館サービスに対する満足度（%）	38.4	38.0	39.1	36.7	56.3	50.0

（資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査）

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
ボランティア活動参加者数（人）	1,554	1,552	1,385	1,467	1,553	2,000

（資料：図書館）

#### ① 図書館情報総合管理システムの整備・充実

平成24年3月に、図書館情報総合管理システムを更新し、市立図書館にセルフ貸出端末4台を設置するなど、利用者のプライバシー保護や貸出しカウンターの混雑緩和に努めました。

また、市立図書館全館に無線LAN環境を整備し、利用者は、自分のパソコンやタブレット端末、スマートフォンを使ってインターネットにアクセスすることにより、本や雑誌を利用できるようになりました。

平成24年7月には、AVライブラリーを改修して、電源供給のできるパソコン専用デスクを設置し、また、平成26年6月には、この専用デスクを一般閲覧室に移設して、図書閲覧と共用の学習・閲覧デスクとするなど、利便性の向上を図りました。

#### ② ユビキタス社会に適応した図書館サービスの推進

平成24年3月の図書館情報総合管理システムの更新時に、図書館のホームページを全面的に更新するとともに、検索結果の画面に資料や作者に関する詳細な情報を提供したことにより、必要とする資料を正確に選べるようになりました。

また、予約の画面において、資料の受取場所を選択できるようにしました。



平成26年4月に、スマートフォンやタブレット端末対応のホームページに更新したことにより、いつでも、どこでも、手軽に図書館資料の検索・予約や様々な情報の収集が可能になりました。

### 〔端末別のホームページの画面〕



スマートフォン用



タブレット用



パソコン用

### ③ 資料を活用したサービスの充実

図書館資料を活用して、ふるさと古文書講座や市史入門講座（市史活用講座）、古典文学講座、現代文学講座などを開催し、多くの市民が参加しています。

#### 〔図書館資料を活用した講座などの参加者数の推移〕

(単位：人)

区分	H22	H23	H24	H25
ふるさと古文書講座	663	656	790	727
市史入門講座	149	195	183	194
古典文学講座	301	327	367	265
現代文学講座	114	64	64	69
読書講演会	160	400	134	89

(資料：図書館)

### ④ 図書館ネットワークの整備

市民の様々な情報ニーズに対応するため、県図書館を中心としたネットワークを活用し、県内の公共図書館や大学図書館、専門図書館による相互貸借サービスを提供しました。

現在、岐阜県をはじめ、愛知県や三重県、福井県、富山県、石川県の各図書館ネットワークを利用して、より広範囲の図書館から、無料で資料の相互貸借が可能になっています。

#### 〔相互貸借冊数の推移〕

(単位：冊)

区分	H22	H23	H24	H25
借受冊数	1,463	1,323	1,351	1,292
貸出冊数	754	1,064	592	1,264

(資料：図書館)

### ⑤ 市民協働による図書館運営の推進

市民協働による図書館運営を推進するため、平成23年6月に「大垣市図書館協議会」を設置し、事業計画や事業報告を諮問するなど、図書館サービスの向上に努めています。

また、図書館におけるボランティア活動として、ボランティアサークルによる読み聞かせ活動をはじめ、読書フェスティバルや読書フォーラムなどの開催支援、書棚整理や資料修繕、映像ボランティアによる「わくわく映像らんど」の運営、中学生による「スイトピア協力隊」などがあります。

平成25年度には、延べ1,553人が図書館におけるボランティア活動に参加しました。

#### 〔平成25年度ボランティア活動参加人数〕

(単位：人)

区分	読み聞かせ等	対面朗読	登録制度	映像	協力隊	合計
参加人数	582	24	560	46	341	1,553

(資料：図書館)

### ⑥ 図書館サービスの課題

年間個人貸出し冊数は増加傾向にあり、あわせて予約冊数も増加しています。

また、図書館を利用する市民は、およそ3人に1人であり、さらに多くの市民が利用するよう、図書館の魅力や有効性を積極的にPRするとともに、地域への出張サービスの実施により、図書館資料を身近に提供する工夫が必要です。

さらに、図書館のホームページにおいて、レファレンスデータベースや様々な有益なサイトを分かりやすく紹介し、市民の情報源の一つとなるよう充実を図る必要があります。

#### 〔予約冊数〕

(単位：冊、%)

区分	H22	H23	H24	H25
予約冊数	58,464	62,910	73,866	81,399
うちネット予約	26,505	30,039	38,418	45,602
ネット予約の割合	45.3	47.7	52.0	56.0

(資料：図書館)

■ 用語解説	
1 図書館情報総合管理システム	貸出し・返却・資料検索・予約・統計処理など、図書館の根幹となる事務を行うためのコンピュータシステムのことです。
2 無線LAN環境	無線機付のパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどが、ケーブルに接続しなくてもインターネットにアクセスできる環境のことです。
3 ユビキタス	インターネットなどの情報ネットワークに、いつでも、だれでも、どこからでもアクセスでき、またその機械やコンピュータ、通信技術などを使っていることを意識しないうちに、利用している状態のことです。

**(4) 「文教のまち大垣」の継承**

昭和43年度から図書館が所蔵する古文書などの整理を開始し、毎年「郷土資料目録」を刊行しています。

しかしながら、原資料は古くて傷んでいるものが多く、閲覧が困難であるため、平成7年度から「郷土資料目録」順にマイクロフィルム化を行っています。

また、平成20年度からは、パソコンにより検索・閲覧ができる「郷土資料データベース」の構築を開始し、平成25年度までに19,674点の資料をデータベース化しました。

**〔目標指標〕**

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
郷土資料データベース化件数(件)	7,602	9,971	17,407	18,225	19,674	15,000

(資料：図書館)

**① 郷土資料の収集と整備・充実**

郷土資料は、本市の歴史や文化、人物などを後世に伝える貴重な資料です。

新しく出版される資料だけでなく、過去に作成・出版された資料についても、寄付採納や古書店などから購入するなど、収集・整理に努めています。

**〔郷土資料の整備状況〕**

(平成26年3月31日現在、単位：点)

区分	郷土図書	古文書	漢籍	和本	計
郷土資料	26,735	30,370	3,636	9,688	70,429

(資料：図書館)

**② 郷土資料目録システムの整備・充実**

平成24年3月にデジタル画像化した古地図や古写真、絵ハガキ、俳諧関連資料、引き札等の美術的かつ歴史的価値の高い資料を、デジタルライブラリーとしてホームページに公開しました。

また、同年7月には、「大垣市電子図書館」を開設し、飯沼愨斎著「草木図説稿本」や「大垣市史」、「大垣青年会誌(麩城会誌)」等、明治から大正初期にかけて出版された貴重な図書などを電子書籍として提供しています。

### ③ 郷土の歴史研究に関する課題

平成26年4月、市史編纂事業の完了に伴い、図書館に歴史研究グループを新設し、郷土資料の収集と整理、それを基にした歴史研究をはじめ、郷土の歴史・文化を紹介する講座や歴史教育を積極的に推進するための体制を整備しました。

また、市史編纂過程で収集した膨大な郷土資料を体系的に整理することは、地域の歴史研究に不可欠であり、また、地域の歴史研究は、図書館に所蔵する資料だけでは完結できません。

そこで、大垣城をはじめ、郷土館や奥の細道むすびの地記念館など、図書館以外の施設に所蔵している収蔵品について、統一的なルールにより整理し、データベースを構築するとともに、新たに収集する資料についても収集方針や管理基準を設ける必要があります。

**(5) 子どもの読書活動の推進**

子どもの読書環境に対する満足度は、平成25年度には67.9%となり、児童図書の年間個人貸出し冊数は、25万冊を超えました。

また、おはなし会等には、平成23年度以降、毎年4,500人を超える親子が参加しています。

**〔目標指標〕**

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
子どもの読書環境に対する満足度(%)	42.4	41.3	45.1	39.7	67.9	50.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
児童図書年間個人貸出し冊数(冊)	244,714	242,075	239,781	245,640	251,332	270,000

(資料：図書館)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
おはなし会等参加人数(人)	2,794	2,961	4,984	4,745	4,601	5,000

(資料：図書館)

**① 図書館における読書活動の推進**

図書館では、子どもが本と出会い、読書の楽しさを知ることを目的として、お話の会『大きな樹』や大垣市読み聞かせネットワーク、読み聞かせボランティア養成講座の受講生など、ボランティアと協働しておはなし会を開催しています。

また、読書の大切さを伝えることを目的に、子ども読書フェスティバルや地域読書フォーラムを開催するとともに、家庭での読書活動を楽しく進められるよう、おすすめ本のリスト作成や読み聞かせの指導を行っています。

平成16年度から開始したブックスタート事業は、平成25年度で10年目を迎え、近年では、子どもが一人読みの能力を養うため、周りの大人がどのように指導したらよいのかをテーマにした講座を開催しています。

〔子どもの読書活動に関する講座等の参加人数〕

(単位：人)

区分	H22	H23	H24	H25
おはなし会	1,601	1,619	1,498	1,687
おひざでだっこ	2,039	2,220	2,156	2,072
手づくり絵本講座	119	150	75	120
ボランティア養成講座	—	235	202	175
その他の講座等	107	141	316	209
読書フォーラム	283	110	312	303
子ども読書フェスティバル	1,081	532	420	50
上石津図書館事業	146	131	87	78
墨俣図書館事業	516	266	183	133

(資料：図書館)

② 家庭における読書活動の推進

ブックスタート事業のフォローアップ事業として、毎週開催している乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」では、家庭での親子のふれあいを大切にするため、読んだ絵本や、わらべうたの歌詞、手あそびの内容などを書いたプログラムを配布しています。

〔家庭における読書活動の実施状況〕



乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」

③ 園・学校における読書活動の推進

図書館では、保育園や幼保園、幼稚園、小学校、中学校との連携による子どもの読書活動を推進するため、図書館資料の一括貸出や園・学校からの図書館見学、職場体験を受け入れています。

平成24年2月には、県立大垣西高等学校に予約図書配本サービスのステーションを設置し、引き続き他の高等学校との連携を検討しています。

## 〔園・学校等への図書館資料の一括貸出数〕

(単位：冊)

区分	H22	H23	H24	H25
園・学校・学校図書館	1,659	1,338	1,322	2,886
留守家庭児童教室	15,128	14,531	15,168	15,154

(資料：図書館)

## 〔園・学校からの図書館見学の受入数〕

(単位：件、人)

区分	H22	H23	H24	H25
見学件数	20	26	31	23
見学人数	978	1,301	1,211	1,098

(資料：図書館)

## ④ 地域における読書活動の推進

子どもが地域において読書活動を進められるよう、地域文庫に児童図書を積極的に配本しました。

また、地域における読み聞かせ活動を支援するため、地域読書フォーラムを開催するとともに、大型絵本や大型紙芝居を整備しました。

## 〔読書フォーラムの開催実績〕

(単位：人)

開催日	場所	内容	講演・出演者	参加人数
H22. 10. 10	子育て総合支援センター	幼児に読み聞かせが大切な理由(ワケ)	川上博幸	78
H22. 11. 7	西部研修センター	乳幼児から“ことば”体験の大切さ	川上博幸	47
H22. 12. 4	墨俣さくら会館	絵本で遊ぼう・パネルシアターで遊ぼう	神戸洋子	158
H23. 6. 23	中川ふれあいセンター	おはなしであそぶ	藤田浩子	110
H24. 6. 17	墨俣さくら会館	長谷川義史絵本ライブ	長谷川義史	312
H25. 6. 16	スイトピアセンター学習館	大垣で生まれた物語-キツネ山の夏休み-	富安陽子	98
H25. 11. 13	墨俣さくら会館	楽しもう!絵本&おてて絵本	サトシン	170
H26. 3. 23	スイトピアセンター学習館	わたしの絵本づくり	ひろかわさえこ	50

(資料：図書館)



〔読書フォーラムの開催状況〕



長谷川義史絵本ライブ



楽しもう！絵本&おてて絵本

⑤ 子どもの読書活動推進に関する課題

子どもが本を楽しみ、自らの読書活動を進めていく能力を養うためには、一人ひとりの育ちや興味に応じた資料的な支援と適切な読書指導が必要です。

このため、乳幼児には家庭での読書を主眼として、親に読書への理解を深めてもらう必要があります。保育園や幼保園、幼稚園、小学校低学年の子どもには、読み聞かせなどによる本の世界への導きを園や学校の先生とともに行うことが必要です。

また、小学校中学年以上の子どもには、学校図書館や公共図書館、地域文庫などを活用し、一人読みをする能力をはぐくむとともに、幅広いジャンルの資料を身近に整備することが必要です。

図書館は、子どもや周りの大人に対し、正しい理論と適切な資料提供を通して、子ども一人ひとりの成長過程において読書活動を支援する役割を担っており、親や先生、読み聞かせグループとの一層緊密な連携が必要です。



## (6) 「アクションプラン100」の取組み状況

第1次計画の「アクションプラン100」のうち未実施は24事業であり、一部事業内容の見直しを行い、本計画において引き続き取り組んでいきます。

## 〔施策ごとの実施状況〕

基本施策	施策	アクションプラン 100		
		総数	(実施)	(未実施)
(1) サービス拠点の整備	3	13	7	6
(2) 図書館資料の整備・充実	7	14	13	1
(3) 図書館サービスの充実	6	27	18	9
(4) 「文教のまち大垣」の継承	4	9	7	2
(5) 子どもの読書活動の推進	4	37	31	6
計	24	100	76	24

## 〔施策ごとのアクションプランの実施状況〕

基本 施策	施策	アクションプラン100	事業 区分	実施 状況
(1) サービス拠点の整備	① 図書館サービス網の整備	1 中央館建設計画の策定	新規	未
		2 地域サービス拠点の整備	新規	未
	② 地域文庫の整備・充実	3 地域文庫資料の整備・充実	拡充	実施
		4 地域文庫機能の充実	拡充	実施
		5 地域文庫での貸出返却サービス	新規	未
	③ ユニバーサルデザインによる施設の整備	6 耐震補強	新規	未
		7 トイレ改修 (洋式トイレ)	新規	実施
		8 外壁補修	拡充	実施
		9 電動書架改修	新規	実施
		10 空調施設改修	継続	未
		11 多目的ルーム設置	新規	実施
		12 学習室パソコンコーナー設置	新規	実施
		13 ユニバーサルデザインによるサインシステム導入	新規	未

基本 施策	施策	アクションプラン	事業 区分	実施 状況
(2) 図書館資料の整備・充実	① 魅力ある資料の整備・充実	14 蔵書整備計画（50万冊）策定	継続	未
		15 視聴覚資料の整備・充実	継続	実施
	② 子どもの育ちに 応じた資料の整備・ 充実	16 赤ちゃん絵本の充実	継続	実施
		17 中高生向き資料の充実	継続	実施
	③ 高齢者向き資料 の整備・充実	18 高齢者向き資料の充実	継続	実施
	④ 福祉資料の整備・ 充実	19 点訳資料の充実	継続	実施
		20 障がい者用録音資料の充実	継続	実施
	⑤ 多文化資料の整備・ 充実	21 多文化資料・情報の充実	継続	実施
	⑥ 課題解決のため の資料や情報の整備・ 充実	22 健康・医療関連資料の充実	継続	実施
		23 子育て資料の充実	継続	実施
		24 ビジネス支援資料の充実	継続	実施
		25 行政情報の充実	継続	実施
		26 地域生活情報の充実	継続	実施
	⑦ 電子書籍の整備・ 充実	27 電子書籍の整備・充実	新規	実施
(3) 図書館サービスの充実	① 図書館情報総合 管理システムの整備・ 充実	28 図書館管理システムの更新	新規	実施
		29 ICタグを活用した図書館管理システム導入計画策定	新規	未
		30 利用者用自動貸出機の設置	新規	実施
		31 自動音声応答システムの導入	新規	実施
	② ユビキタス社会 に適応した図書館 サービスの推進	32 ホームページの更新	拡充	実施
		33 インターネット・メールマガジンの発行	新規	未
	③ 資料提供サービスの 充実	34 レファレンスQ&Aの構築	新規	実施
		35 レフェラル（照会）サービスの充実	継続	実施
		36 予約サービスの充実	拡充	実施
		37 相互貸借サービスの充実	継続	実施
38 予約図書配本サービスの充実		継続	実施	
39 中高生図書コーナーの設置		新規	実施	

基本 施策	施策	アクションプラン	事業 区分	実施 状況
		40 高齢者サービスの充実	新規	実施
		41 福祉ボランティアの育成	新規	未
		42 点字リクエストサービスの提供	新規	未
		43 DAISYリクエストサービスの提供	新規	未
		44 アウトリーチサービス実施計画策定	新規	未
		45 多文化ボランティアの育成	新規	未
		46 外国人支援サービスの充実	新規	未
	④ 資料を活用したサービスの充実	47 魅力ある展示会の開催	継続	実施
		48 講座・講演会の開催	継続	実施
		49 リサイクルフェアの開催	継続	実施
	⑤ 図書館ネットワークの整備	50 図書館ネットワークの整備	継続	実施
	⑥ 市民協働による図書館運営の推進	51 ボランティア登録制度の充実	継続	実施
		52 「図書館友の会」の設立	新規	未
		53 講座・講演会等、共催事業の開催	継続	実施
54 図書館協議会の設置		新規	実施	
(4) 「文教のまち大垣」の継承	① 郷土資料の収集と整備・充実	55 郷土資料の充実	継続	実施
		56 収蔵・管理システムの導入	新規	実施
	② 郷土資料目録システムの整備・充実	57 郷土資料目録データベースの整備	継続	実施
		58 郷土資料画像情報提供システムの整備	拡充	実施
		59 大垣藩人物データベースの構築	新規	未
		60 ふるさと映像デジタル化	新規	未
	③ 郷土資料(逐次刊行物)デジタル化の推進	61 大垣青年会誌デジタル化	新規	実施
		62 郷土発行新聞デジタル化	新規	実施
	④ 市史編纂と郷土資料等整備体制の構築	63 市史編纂資料データベース化	新規	実施

基本施策	施策	アクションプラン	事業区分	実施状況
(5) 子どもの読書活動の推進	① 図書館における読書活動の推進	64 児童図書整備計画（18万冊）	継続	実施
		65 赤ちゃん絵本の充実	継続	実施
		66 児童向き福祉資料の整備・充実	継続	実施
		67 外国人児童への支援資料の整備・充実	継続	実施
		68 中高生向きブックリスト・情報の発信	継続	実施
		69 市川里美コーナーの充実	新規	実施
		70 ブックスタート・「おひざでだっこ」指導員の研修	継続	実施
		71 読み聞かせネットワークの充実	継続	実施
		72 市民向き読み聞かせ講座の開催	継続	実施
		73 図書館職員による園・学校訪問	新規	未
		74 職場見学・職場体験・インターンシップの充実	継続	実施
		75 読み聞かせネットワーク研修会の開催	継続	実施
		76 土・日曜日のおはなし会の充実	継続	実施
		77 「子ども読書週間」事業の充実	継続	実施
		78 秋の「読書週間」事業の充実	継続	実施
	79 子ども読書フェスティバルの開催	継続	実施	
	80 子ども向きホームページの開設	新規	未	
	81 子育て情報コーナーの整備・充実	継続	実施	
	82 園・学校図書館への一括貸出しの充実	継続	実施	
	② 家庭における読書活動の推進	83 ブックスタートの充実	継続	実施
		84 読み聞かせ指導員等のスキルアップ	継続	実施
85 「おひざでだっこ」の充実		継続	実施	
86 ブックリストの作成・配布		継続	実施	
87 育児パパ「おひざでだっこ」の開催		新規	実施	
③ 園・学校における読書活動の推進	88 朝読書、全校一斉読書の推進	継続	実施	
	89 図書館まつり等読書推進活動の推進	継続	実施	
	90 「学校図書館マニュアル」の作成	新規	実施	
	91 「学校図書館利用案内」（児童生徒用）の作成	新規	未	

基本 施策	施策	アクションプラン	事業 区分	実施 状況
		92 おすすめ本、必読書リストの作成	新規	未
		93 学校図書館ホームページの開設	新規	未
		94 学校図書館ネットワークの推進	拡充	実施
		95 司書教諭等研修会の開催	継続	実施
		96 学校司書部会の開催	継続	実施
		④ 地域における読 書活動の推進	97 地域文庫用児童図書の整備	拡充
	98 地域おはなし会の開催		新規	実施
	99 地域読書フェスティバルの開催		拡充	実施
	100 予約ポスト等の設置		新規	未

### 3 第2次計画の策定に向けて

第1次計画では、図書館の施設・設備や資料、サービス、郷土資料、子どもの読書活動の5つの視点により、基本目標と基本施策を掲げ、様々な読書活動推進事業に取り組んできました。

本市における読書活動の推進には、これら5つの視点が大変重要であり、本計画においても、これらの視点から、基本理念や基本目標、基本施策を掲げます。

しかしながら、ICT機器の進展により読書や情報に関する環境は大きく変化し、市民の要望も多様化、細分化するため、これらに対応できるよう、きめ細かく柔軟な計画とします。

特に、本市の図書館の特徴である郷土資料と郷土の歴史研究については、資料の収集や研究、学習機会の提供を事業の柱として、「文教のまち大垣」の継承に努めます。

また、子どもの読書活動については、学校や園、関係機関及びボランティアとの連携協力を中心に推進します。

## 第3章 基本方針

### 1 基本理念

#### 暮らしと文化を創る読書活動

### 2 基本目標

#### (1) 市民の身近にサービス拠点を整備します

市民が身近で気軽に読書活動を進められるよう、地域の活動拠点にサービス拠点を整備します。

#### (2) 「地域の知の拠点」として豊富な資料を整備します

市民の様々な情報ニーズに対応する豊富な資料や情報を収集し、迅速に提供できるように整備します。

#### (3) 「暮らしに役立つ図書館」として多様なサービスを提供します

資料や情報を必要とする市民一人ひとりのニーズに対応するため、様々なサービスを提供します。

#### (4) 「文教のまち大垣」を継承します

本市の貴重な郷土資料の収集や整理、保存、研究を行い、市民に広く紹介するとともに、学習機会を提供し、「文教のまち大垣」の歴史や文化を後世に継承します。

#### (5) 子どもの読書活動を推進します

子どもが自主的に読書活動を行い、豊かな心をはぐくむとともに、読解力や情報を収集・活用する能力を養うことができるよう、図書館や家庭、学校、地域が連携して読書環境を整備します。

### 3 基本施策

#### (1) サービス拠点の整備・充実

- ① 地域におけるサービス拠点の整備・充実
- ② 施設・設備の整備・充実

#### (2) 図書館資料の充実

- ① 魅力ある資料の整備・充実
- ② デジタル資料・情報の充実

#### (3) 図書館サービスの充実

- ① 貸出しの充実
- ② レファレンスの充実
- ③ 利用者に対応したサービスの充実
- ④ 市民と協働したサービスの充実
- ⑤ 広報・PR活動の充実

#### (4) 「文教のまち大垣」の継承

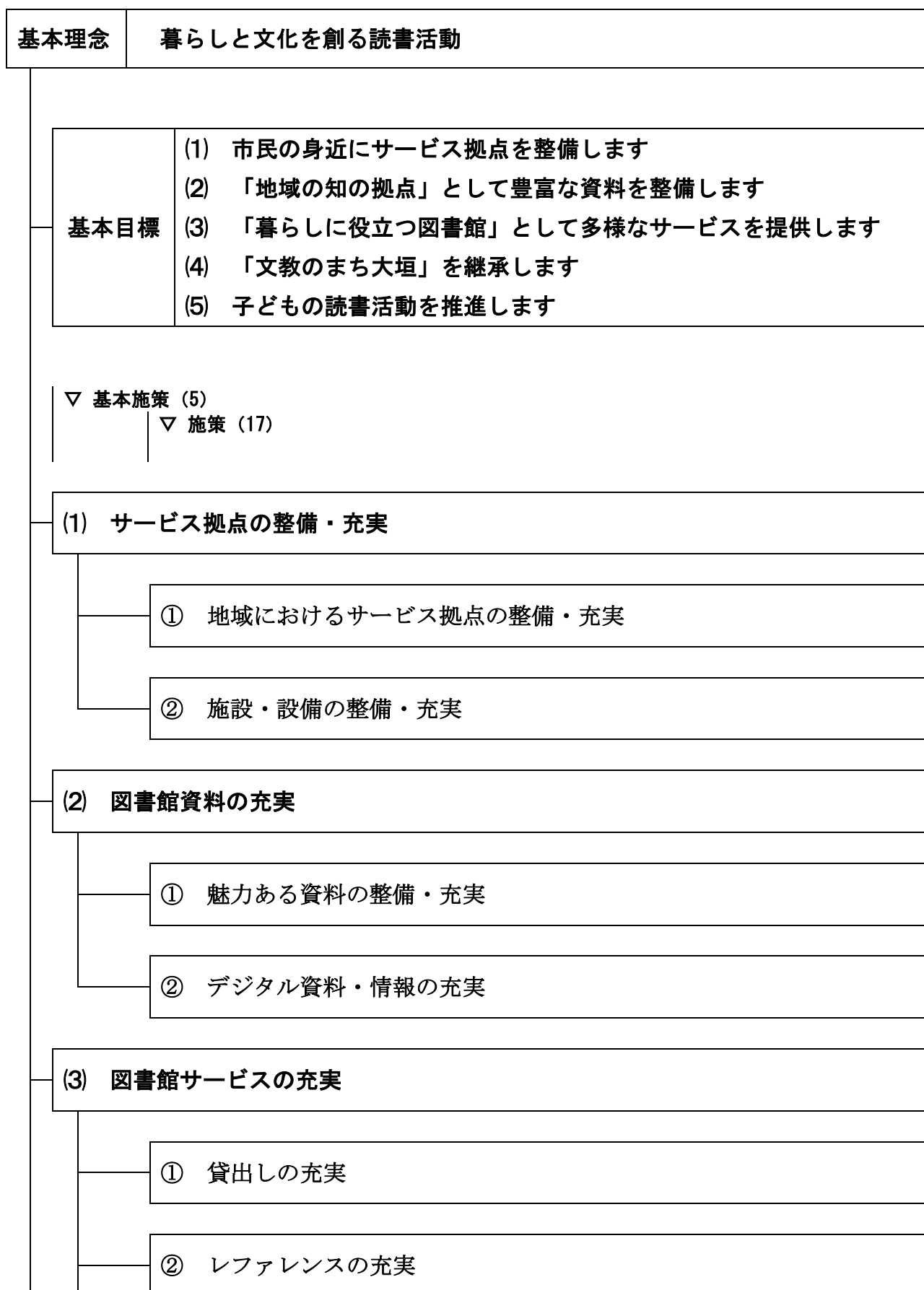
- ① 郷土資料・地域情報の収集と研究
- ② 郷土資料データベースの構築
- ③ 郷土学習の機会提供

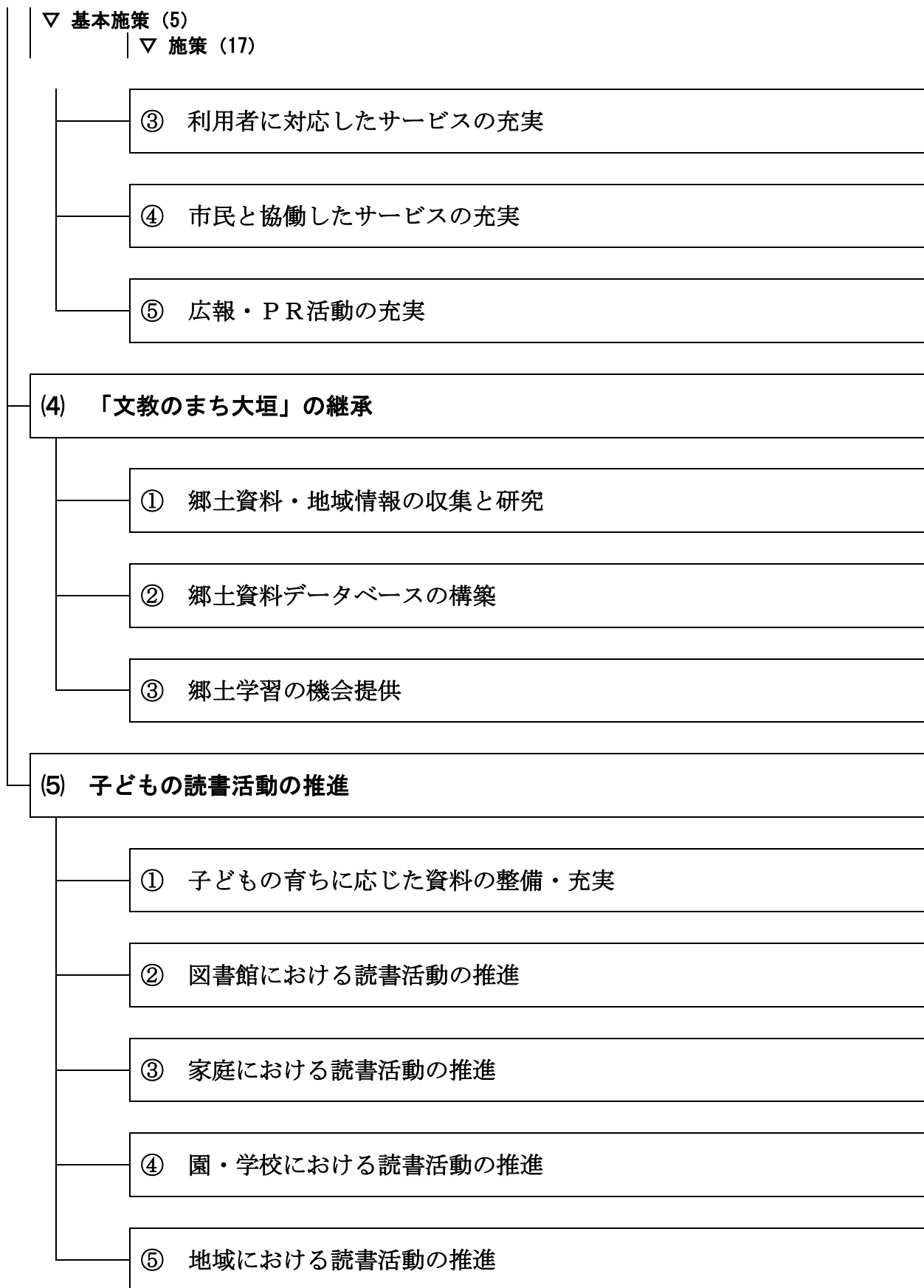
#### (5) 子どもの読書活動の推進

- ① 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実
- ② 図書館における読書活動の推進
- ③ 家庭における読書活動の推進
- ④ 園・学校における読書活動の推進
- ⑤ 地域における読書活動の推進



## 4 施策体系図





## 第4章 基本施策

### 1 サービス拠点の整備・充実

市民の読書活動の中心拠点である公共図書館は、市立図書館や上石津図書館、墨俣図書館の3館とし、その他の公共施設や地域の活動拠点にサービス拠点を設置して、図書館サービス網を整備します。

また、図書館施設の整備・充実を図り、安心、安全、快適に利用できるよう努めます。

#### (1) 地域におけるサービス拠点の整備・充実

現在、地域文庫は、市内各地域の地区センターをはじめ、まちづくり市民活動支援センターや子育て交流プラザなど25か所に設置しています。

今後は、福祉施設や病院等にも地域文庫を設置して、それぞれの施設等の要望にきめ細かく対応していきます。

また、予約図書配本サービスは、市内各地域のサービスセンターや地区センターをはじめ、大垣西高等学校で実施しています。

今後は、配本を希望する施設と連携を図り、配本所の増加に努めます。

#### 〔主要事業〕

- ① 地域文庫の整備・充実
- ② 予約図書配本所の整備

#### (2) 施設・設備の整備・充実

長年にわたり利用されている図書館は、本市のシンボルの一つです。

今後も長く親しまれ、安心、安全、快適に利用できるよう施設や設備の整備、改修を行います。

#### 〔主要事業〕

- ① 施設・設備の整備・充実

## 2 図書館資料の充実

図書館は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用し、また、利用目的も、余暇を楽しむためや知識や教養を深めるため、趣味や仕事のため、調査研究のためなど様々です。

利用者一人ひとりの情報ニーズに対応するため、利用者が必要とする資料や見たい、読みたいと思う資料を幅広い分野にわたって豊富に所蔵する必要があります。

特に近年、利用者自身が図書館内の利用者用端末をはじめ、自身のパソコンやスマートフォンなどからインターネットを利用して、資料を検索することが増えているため、資料に関する情報を分かりやすく整理し、だれもが必要とする資料に、確実にアクセスできるよう努めます。

### (1) 魅力ある資料の整備・充実

魅力ある資料とは、市民が必要とする資料や有益な資料、興味や関心を引く資料のことです。

図書館は、市民の暮らしに根ざした、暮らしに役立つ、そして暮らしと文化を創造する「知の拠点」をめざしており、暮らしをキーワードに、実生活に役立つ情報や家族の暮らしを応援する情報、ビジネスに関する情報を重点としています。

また、社会経済情勢が急速に変化する中、情報の新鮮さと分かりやすさが求められており、最新データの提供に努めるとともに、文章や章立ての分かりやすさ、図版や写真などがうまく使用され読者が理解しやすい内容であることに留意し、資料を収集・整理します。

さらに、本の表紙を見せる展示方法をはじめ、新着案内やホームページを活用した資料紹介に取り組むとともに、市民の知的好奇心を刺激し、本や知識との出会いの場づくりに努めます。

高齢者や障がい者、外国人市民にも、魅力的で使いやすい資料を収集・整理します。

#### 【主要事業】

- ① 生活情報の充実
- ② 家族の暮らしを応援する資料の充実
- ③ ビジネス資料の充実
- ④ 福祉資料の充実
- ⑤ 多文化理解を深める資料の充実

## (2) デジタル資料・情報の充実

現代社会において、市民は、本や雑誌、新聞などの紙媒体をはじめ、テレビやラジオ、インターネットなど様々なメディアから情報を入手しています。

特に、インターネットは、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等の普及により、市民の身近な情報手段になっています。

図書館においても、デジタル資料の提供が可能なインターネットを積極的に活用し、ホームページのリンク情報やレファレンスデータベース、電子書籍の充実を図ることにより、即時性が高く、きめ細かい情報提供に努めます。

### 〔主要事業〕

#### ① ホームページにおけるデジタル情報の提供

■ 用語解説	
1 「資料」と「情報」	第2次計画では「資料」と「情報」を、次のように使い分けています。 資料：情報とそれを収納する媒体（本や雑誌、新聞、CD、DVDなど）をあわせたもの。 情報：収納する媒体や手段を問わず、伝達される内容そのもの。

### 3 図書館サービスの充実

図書館のもっとも基本的なサービスは、貸出しやレファレンスによる資料提供です。

特に、近年は、多様化する社会経済情勢を反映して、図書館に寄せられる市民の資料要求も多様化・細分化しており、これらに的確に対応できるよう、きめ細かいサービス体制を整備し、貸出しとレファレンスの充実を図ります。

また、市民と協働して図書館サービスの充実に努めるとともに、図書館の魅力や有効性をPRし、利用促進を図ります。

#### (1) 貸出しの充実

貸出しは、豊富な資料の中から読みたい資料や必要とする資料を選択し、提供するサービスです。

新着案内や見やすい配架、資料の紹介展示などにより、利用者自身による資料選択を支援します。

また、図書館職員による資料相談の充実を図り、効果的かつ合理的な貸出しサービスの提供に努めるとともに、求める資料が貸出中の場合や所蔵していない場合には、予約サービスにより確実な提供に努めます。

#### 〔主要事業〕

- ① 資料案内の充実
- ② 予約サービスの充実

#### (2) レファレンスの充実

図書館利用者は、資料案内や予約サービスを含む貸出しにより問題を解決します。

しかしながら、求める情報がどの資料に書かれているか分からない場合や、その資料がどこにあるか分からない場合には、図書館職員に尋ねるなど、レファレンスを利用して、的確かつ効率的に問題を解決することができます。

今後は、レファレンスについて広く市民に紹介し、多くの質問が寄せられるよう努めるとともに、市立図書館1階の総合案内や児童閲覧室、2階の一般閲覧室、上石津図書館や墨俣図書館においても積極的にレファレンスを受け付けます。

また、3館の全蔵書のうち、特に辞書・事典類や統計書、インターネットを最大限に活用して、必要とする情報を確実に提供する体制を整備します。

さらに、レファレンス事例を記録・蓄積し、レファレンスデータベースとして公開することにより、市民の利便性を高め、専門的で高度なレファレンスに努めます。

## 〔主要事業〕

- ① レファレンスの充実
- ② レファレンスデータベースの充実

## (3) 利用者に対応したサービスの充実

図書館は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が様々な目的により利用する一方、障がい者や外国人市民、図書館から遠方の市民、開館時間中の利用が困難な市民もいます。

このため、読書離れが指摘されている青少年をはじめ、図書館を利用するために介助や支援が必要な高齢者、障がい者、外国人市民に留意し、それぞれに対応したきめ細かいサービスの提供に努めます。

青少年には、ティーンズ図書コーナーの充実を図り、職場体験や図書館見学を通じて、図書館や読書の楽しさや有効性を伝えるとともに、生涯を通じて読書に親しむ基礎づくりにつながるサービスを提供し、高齢者には、対面朗読や図書館の便利な利用方法、新しいサービス等に関する説明会の開催、利用の際の介助サービスを提供します。

また、視覚障がい者には、対面朗読や資料の郵送サービスを提供し、外国人市民には、外国語の利用案内の作成や外国人市民の暮らしに役立つ他機関等の紹介サービスを提供します。

## 〔主要事業〕

- ① 青少年サービスの充実
- ② 高齢者サービスの充実
- ③ 福祉サービスの充実
- ④ 多文化サービスの充実

## (4) 市民と協働したサービスの充実

平成23年6月に「大垣市図書館協議会」を設置し、様々な点について諮問し、図書館サービスに反映しています。

また、図書館ボランティアは、子どもへの読み聞かせや視覚障がい者への対面朗読、書棚の整理、資料の修繕などの活動をしています。

今後も、より多くの市民が図書館ボランティアに参加できるよう、活動の機会を幅広く設けていきます。

## 〔主要事業〕

- ① 図書館協議会の開催
- ② 図書館におけるボランティア活動の機会提供



(5) 広報・PR活動の充実

図書館では、毎月、図書館広報誌「図書館だより」をはじめ、一般図書新着案内「本の泉」、児童図書新着案内「ポケット」を作成し、学校や園、地区センターなどに配布しています。

また、図書館のホームページや広報おおがきを活用して、各種イベントなどをお知らせしています。

今後は、図書館が所蔵する豊富な資料の魅力や利用の有効性を重点的にPRし、利用を促進します。

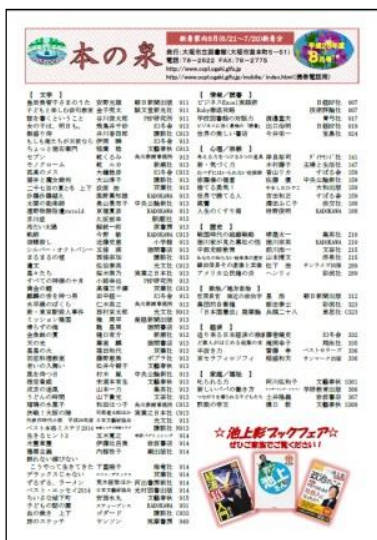
また、図書館から遠方の市民や障がい者、開館時間中の利用が困難な市民には、地域文庫や予約図書配本サービスの周知を図ります。

さらに、学校や地域の活動拠点、市民団体等と連携を図り、資料や情報要求の掘り起こしに努めるとともに、それぞれの活動に有益な資料の提供に努めます。

〔主要事業〕

- ① 広報誌・新着案内の充実
- ② ジャンル別・利用者層別ブックリストの作成

〔現在の図書館広報誌〕



図書館広報誌「図書館だより」 一般図書新着案内「本の泉」 児童図書新着案内「ポケット」



## 4 「文教のまち大垣」の継承

郷土資料は、地域の歴史や文化、人物等を後世に伝える大切な遺産です。

しかしながら、時代の経過とともに散逸してしまう可能性があるため、積極的かつ継続的に収集する必要があります。

また、市民が郷土を理解し、郷土愛をはぐくみ、歴史や文化を次の世代に継承するため、郷土資料の収集や整理、研究、紹介し、学習機会の提供に努めます。

### (1) 郷土資料・地域情報の収集と研究

郷土資料や地域情報は、図書や雑誌、新聞、古文書のように文字で表現された資料をはじめ、美術品や工芸品、考古資料のように立体的な博物資料や視聴覚資料、デジタル媒体の資料など、内容や形態も様々です。

多様な郷土資料を市民の共有財産とするため、郷土資料の収集方針や収集基準を策定し、計画的かつ積極的に収集、管理する体制を整備します。

また、郷土資料の情報を共有することにより、資料を収蔵する施設間の連携が深まり、複数施設の資料を活用した展示会の開催や学習機会の提供が可能になります。

収集した郷土資料については、体系的に整理、研究して資料集などを刊行するとともに、資料紹介に努め、郷土学習に役立てます。

また、子ども向きの郷土資料にも留意し、児童閲覧室の郷土資料コーナー（上石津図書館、墨俣図書館は児童図書コーナー）の充実を図ります。

#### 〔主要事業〕

- ① 郷土資料・地域情報の収集方針の策定
- ② 市史「文書目録」の刊行
- ③ 資料集の刊行

### (2) 郷土資料データベースの構築

現在の郷土資料データベースは、図書館が刊行している「郷土資料目録」の掲載順に構築しています。

今後は、市史編纂資料をはじめ、関連施設等が管理している収蔵品も対象に、書写資料や古典籍、美術・工芸品等の形態ごとにデータベースの構築ができる体制を整備します。

**〔主要事業〕**

- ① 郷土資料データベースの整備
- ② 市史編纂資料データ化の推進
- ③ 収蔵品データベース構築体制の整備

**(3) 郷土学習の機会提供**

収集した郷土資料を調査、研究するとともに、市民がより深く郷土を理解し、親しみをもてるよう、資料の紹介展示や講座などを積極的に開催します。

また、子どもにも留意し、郷土資料を活用した調べ学習の支援や郷土資料の紹介に努めます。

**〔主要事業〕**

- ① 資料紹介展の開催
- ② ふるさと講座の開催

## 5 子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

すべての子どもが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、環境整備を推進します。

### (1) 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実

子どもは、一人ひとりの育ちに応じて、知識や興味の対象を広げていきます。

このため、子どもが読みたい、見たい、知りたいと思ったときに、いつでも、どこでも、読書ができるよう、図書館や家庭、園・学校、地域の子どもの活動拠点に児童図書を整備・充実します。

#### 〔主要事業〕

#### ① 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実

### (2) 図書館における読書活動の推進

図書館は、子どもの育ちや学びに必要な児童図書等を豊富に幅広く収集、紹介、提供するとともに、子どもが本を好きになるよう、おはなし会を開催します。

また、家庭や学校、地域における読書活動を支援するため、積極的に資料を提供するとともに、子どもの読書に関する理解を深めるための取り組みや、読み聞かせボランティアの養成に努めます。

#### 〔主要事業〕

- ① おはなし会の開催
- ② 子どもと本の講座の開催

### (3) 家庭における読書活動の推進

家庭における読書活動を推進するため、子どもの育ちに応じた本を紹介するとともに、楽しみながら読書を進められるよう、読書記録をつけることができる読書手帳を作成し、普及に努めます。

また、子どものための読書案内の充実を図り、多くの本に親しめる環境を整備するとともに、絵本を仲立ちとした親子のふれあいを進めるため、乳幼児向けのおはなし会「おひざでだっこ」の充実を図ります。

〔主要事業〕

- ① 子どもの育ちに応じた読書手帳の普及
- ② 子どもの読書案内の充実
- ③ 乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」の充実

(4) 園・学校における読書活動の推進

子どもの読書環境について、教師や学校司書、公共図書館職員が連携を図るため、情報交換の機会を設けます。

また、子どもの図書館見学の実施や留守家庭児童教室への図書館資料の一括貸出しを充実します。

さらに、高校生の読書活動を支援するため、高等学校との連携により、予約図書配本サービスを実施します。

〔主要事業〕

- ① 図書館資料の一括貸出しの充実
- ② 留守家庭児童教室との連携の充実
- ③ 司書教諭・学校司書との連携
- ④ 子どもの図書館見学の機会提供
- ⑤ 高等学校における予約図書配本所の設置

(5) 地域における読書活動の推進

子どもが身近な場所において本が読めるよう、地区センター等に豊富で幅広い内容の児童図書等を配本します。

また、読み聞かせボランティアの養成を推進し、地域でのおはなし会を開催します。

〔主要事業〕

- ① 地域文庫における児童図書の充実
- ② 読み聞かせボランティアの養成
- ③ 地域おはなし会の開催

## 6 アクションプラン

## 〔施策ごとの内訳〕

基本施策	施策	アクションプラン（主要事業）			
		総数	（新規）	（拡充）	（継続）
(1) サービス拠点の整備・充実	2	3	(0)	(3)	(0)
(2) 図書館資料の充実	2	6	(0)	(6)	(0)
(3) 図書館サービスの充実	5	12	(1)	(10)	(1)
(4) 「文教のまち大垣」の継承	3	8	(2)	(0)	(6)
(5) 子どもの読書活動の推進	5	14	(1)	(7)	(6)
計	17	43	(4)	(26)	(13)

## 〔施策ごとのアクションプラン〕

基本 施策	施策	アクションプラン（主要事業）	事業 区分
点 の 整 備 ・ 充 実	① 地域におけるサービス拠点の整備・充実	1 地域文庫の整備・充実	拡充
		2 予約図書配本所の整備	拡充
	② 施設・設備の整備・充実	3 施設・設備の整備・充実	拡充
図 書 館 資 料 の 充 実	① 魅力ある資料の整備・充実	4 生活情報の充実	拡充
		5 家族の暮らしを応援する資料の充実	拡充
		6 ビジネス資料の充実	拡充
		7 福祉資料の充実	拡充
		8 多文化理解を深める資料の充実	拡充
	② デジタル資料・情報の充実	9 ホームページにおけるデジタル情報の提供	拡充
実 図 書 館 サ ー ビ ス の 充	① 貸出しの充実	10 資料案内の充実	拡充
		11 予約サービスの充実	拡充
	② レファレンスの充実	12 レファレンスの充実	拡充
		13 レファレンスデータベースの充実	拡充
	③ 利用者に対応したサービスの充実	14 青少年サービスの充実	拡充
		15 高齢者サービスの充実	拡充
	16 福祉サービスの充実	拡充	

基本 施策	施策	アクションプラン（主要事業）	事業 区分
		17 多文化サービスの充実	拡充
		④ 市民と協働したサービスの充実	18 図書館協議会の開催 19 図書館におけるボランティア活動の機会提供
	⑤ 広報・PR活動の充実	20 広報誌・新着案内の充実	拡充
		21 ジャンル別・利用者層別ブックリストの作成	新規
		承(4)	① 郷土資料・地域情報の収集と研究
② 郷土資料データベースの構築	25 郷土資料データベースの整備	継続	
	26 市史編纂資料データ化の推進	継続	
	27 収蔵品データベース構築体制の整備	新規	
③ 郷土学習の機会提供	28 資料紹介展の開催	継続	
	29 ふるさと講座の開催	継続	
(5) 子どもの読書活動の推進	① 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実	30 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実	継続
		② 図書館における読書活動の推進	31 おはなし会の開催 32 子どもと本の講座の開催
	③ 家庭における読書活動の推進	33 子どもの育ちに応じた読書手帳の普及	新規
		34 子どもの読書案内の充実	拡充
		35 乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」の充実	拡充
	④ 園・学校における読書活動の推進	36 図書館資料の一括貸出しの充実	継続
		37 留守家庭児童教室との連携の充実	継続
		38 司書教諭・学校司書との連携	拡充
		39 子どもの図書館見学の機会提供	継続
		40 高等学校における予約図書配本所の設置	拡充
	⑤ 地域における読書活動の推進	41 地域文庫における児童図書の充実	拡充
		42 読み聞かせボランティアの養成	拡充
		43 地域おはなし会の開催	拡充

## 第5章 計画の推進

### 1 推進方法

本計画を具体的かつ総合的に展開するためには、市民全体の理解と協力のもと推進していく必要があります。

このため、家庭や園・学校、地域等との連携を図り、計画を推進します。

### 2 推進体制

図書館と園・学校、関係各課・機関等が連携して、計画を推進します。

### 3 進行管理

本計画に基づいて推進する基本施策の進行管理を行うにあたり、大垣市教育振興基本方針評価委員会や大垣市図書館協議会に進捗状況を報告し、評価を受けます。

### 4 計画の見直し

本計画の進捗状況や本市を取り巻く社会経済情勢、国・県の動向を踏まえ、必要に応じて、計画の見直しを行います。

## 5 指標と目標

本計画の施策の着実な推進を確認するための指標として、目標を設定します。

基本施策	目標指標名	基準値 (H25年 度)	目標値 (H31年 度)
(1) サービス拠点の整備・充 実	市民の貸出し登録率 (%)	48.8	50.0
	図書館を利用する市民の割 合 (%)	33.3	38.0
(2) 図書館資料の充実	蔵書更新率 (%)	4.55	5.00
	蔵書満足度 (%)	91.6	95.0
(3) 図書館サービスの充実	市民1人当たりの貸出し冊数 (冊)	4.38	5.00
	レファレンス件数 (件)	1,646	2,000
(4) 「文教のまち大垣」の継 承	講座等参加人数 (人)	921	1,000
(5) 子どもの読書活動の推 進	子どもの読書環境に対する 満足度 (%)	67.9	70.0
	児童図書貸出し冊数 (冊)	251,332	270,000



## 資 料

## 1 計画策定の経過

年月日	項目	内容
平成26年4月21日	定例教育委員会	・ 計画策定趣旨の説明
6月26日	図書館協議会第1回会議	・ 計画策定趣旨の説明 ・ 第2次読書活動推進計画素案の審議
8月28日	図書館協議会第2回会議	・ 第2次読書活動推進計画素案の審議
10月1日	図書館協議会第3回会議	・ 第2次読書活動推進計画素案の審議
11月21日	教育振興基本方針評価委員会	・ 第2次読書活動推進計画案の中間報告
11月26日	定例教育委員会	・ 第2次読書活動推進計画案の中間報告
12月12日	市議会文教厚生委員会	・ 第2次読書活動推進計画案の中間報告
12月19日～ 平成27年1月19日	パブリック・コメント	・ 第2次読書活動推進計画案の意見募集
2月25日	定例教育委員会	・ 第2次読書活動推進計画案の報告
3月16日	市議会文教厚生委員会	・ 第2次読書活動推進計画案の報告
3月25日		・ 第2次読書活動推進計画の決定

## 2 図書館条例等

### (1) 図書館条例（抜粋）

（図書館協議会）

第4条 法第14条第1項の規定に基づき、図書館に大垣市図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者
- (4) 市民公募による者

3 協議会は、委員10人以内で組織する。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (2) 図書館規則（抜粋）

#### 第4章 図書館協議会

（協議会の組織）

第28条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の運営）

第29条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長をもって充てる。

4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

5 会長は、必要があると認めるときは、関係者を会議に出席させ、説明又は意見を述べさせることができる。

（協議会の庶務）

第30条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

## 3 図書館協議会委員名簿

- 会 長 矢 橋 和 江  
副 会 長 土 本 潤

区分	氏名	備考
学校教育及び社会教育の 関係者（2人）	高 木 佐知子	大垣市立江東小学校長
	松 井 英 依	大垣市社会教育推進委員の会会長
家庭教育の向上に資する 活動を行う者（3人）	橋 川 実	大垣市障害者団体連絡協議会事務局
	武 藤 環	お話の会『大きな樹』
	矢 橋 和 江	元大垣市読書サークル協議会会長
学識経験者（1人）	土 本 潤	東海学院大学短期大学部講師
市民公募による者（1人）	小 林 志 壽子	

（敬称略、五十音順）



## 大垣市第2次読書活動推進計画

平成27年3月

発行 岐阜県大垣市教育委員会

編集 大垣市図書館

岐阜県大垣市室本町5丁目51番地

電話 (0584) 78-2622 内線 833